

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（2023.3実施）

事業所名 グリーンヒルキッズゆりのき台

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	利用定員10名に対して、指導訓練スペースが58.3㎡あり、県の基準を満たしている
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	基準を満たしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	0	適切になされている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	0	職員全員で毎日その日の目標を確認し、振り返りを行い、次回に生かしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	0	保護者アンケートを実施し、改善に努めている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	法人ホームページで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	0	2	第三者外部評価は行っていない。第三者による外部評価について今後検討していく
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	0	毎月1回、職員全員で行っている
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	6か月ごとにモニタリングを行い、保護者と面談の上、個別支援計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	0	県のアセスメント様式を参考にして、事業所独自のアセスメント様式を使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	1か月のプログラムを職員全員で検討し、担当職員がさらに細かいプログラムを作成している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	今年度はコロナ禍で活動プログラムが固定してしまったが、その中でも工夫をこらしたプログラムを作成している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	0	1か月のプランの中で課題を決め、時程や活動内容を設定している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	個別・集団の活動を毎日取り入れ、計画を作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	毎日、支援開始前に、職員全員でその日の支援内容（活動内容・役割分担）を決め、確認している
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	毎日、支援終了後に職員全員でその日の活動の振り返りを行い、個々の支援について検討している	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	個々の活動内容を丁寧に記載し、次回の支援に生かしている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	6か月ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しに反映させている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	0	0	基本活動を2つ～3つ組み合わせ支援内容を決め、活動している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	管理者・児童発達支援管理責任者が参加し、適時、児童指導員も加わり、子どもの支援を行っている

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	学校との連携は学校の方針によって異なるが、児童の実態に合わせ情報共有・連絡調整等適切に行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	0	0	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、個別の連絡体制を整備している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1	0	就学時支援シートによる情報共有や就学前の担当者会議を行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	0	0	他のサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等用意はある
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0	適時、児童に関する相談をしている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	1	0	月1回、市の文化伝承館に出かけて他児との交流を行い、子ども食堂や社協の行事に積極的に参加することで障害のない子どもと活動を行っている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	0	0	法人として参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	保護者との連携・共有理解に努めている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	0	0	個別の相談を受けることが多く、保護者のメンタル面のサポートに努めている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	契約時に説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	保護者からの相談の対応に努める
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	0	0	月1回父母会を開催し、保護者同士の連携づくり構築に大きな影響をもたらしている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	苦情への対応は「いち早く」を基本に対応に努めている

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	苦情への対応は「いち早く」を基本に対応に努めている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	法人の会報(年4回)事業所からのお便り(月1回)を発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	十分に注意して業務にあたっている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	それぞれの特質を踏まえて、個別に配慮することに努めている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2	1	法人が開催する地域住民との交流に参加している
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	マニュアル作成し、職員間の周知はなされているが、保護者は契約時の説明のみなので周知されていない場合がある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	毎月1回避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	職員研修を実施している

等の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	身体拘束の該当する児童はいないが、そのような場合への対応も検討しておく必要があると思われる
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	食物アレルギー確認書を記入してもらい対応しているが医師の指示書が必要な児童はいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	ヒヤリハットの作成により、危険を察知し未然に防ぐための検討会を行い支援に生かしている